

2019年 春学期

社会科教材論 第12回

**社会科のシミュレーションゲーム教材の
体験(2):
社会保障制度のジレンマを体感する**

【確認】この授業で大切にしたい視点

1. 教材作りを単なるテクニツク的
な問題と考えないこと
2. 「良い教材って何だろう？」と
いう問いをめぐって、自分の心境・
考えの変化について、向き
合うこと
3. 完成品の教材の完成度よりも、
「教材を作るプロセス」に注
目・意識すること

【確認】この授業の最終的な目標

- **全員の教材のデータが収録された冊子を作ります。**
- **編集作業などもしてもらいます。**



次週にたたき台資料をもってくること

今日の授業の目的共有

社会保障制度のジレンマを体験できるか

生徒にないきって確かめる。

ゲストの紹介



加藤千晃さん (ライフ・リテラシー代表)

- 「社会保障教育、税教育、労働教育、主権者教育のための“すごろく”」であるライフ・リテラシーゲームを開発。
- 現在、小・中・高・大で幅広く出前授業を行う。
- 平塚市在住



では、ライフリテラシー
ゲームをやいましょう。

【討論】

**日本の健康保険制度
が危ない？**

【まとめ】

**今の日本の健康保険の
仕組みと未来**

この授業の背景としての 考え方

加藤さんからの

メッセージ

「振り返り・記録シート」の記入

**自分の考えの変化、違和感、モヤモヤ感を出来るだけ、
言語化するようにしてください。**

**(後で、自分の授業観を振り返るための
重要な記録になります。)**

**※授業の感想なども書き添えてもらえると
大変嬉しいです。**